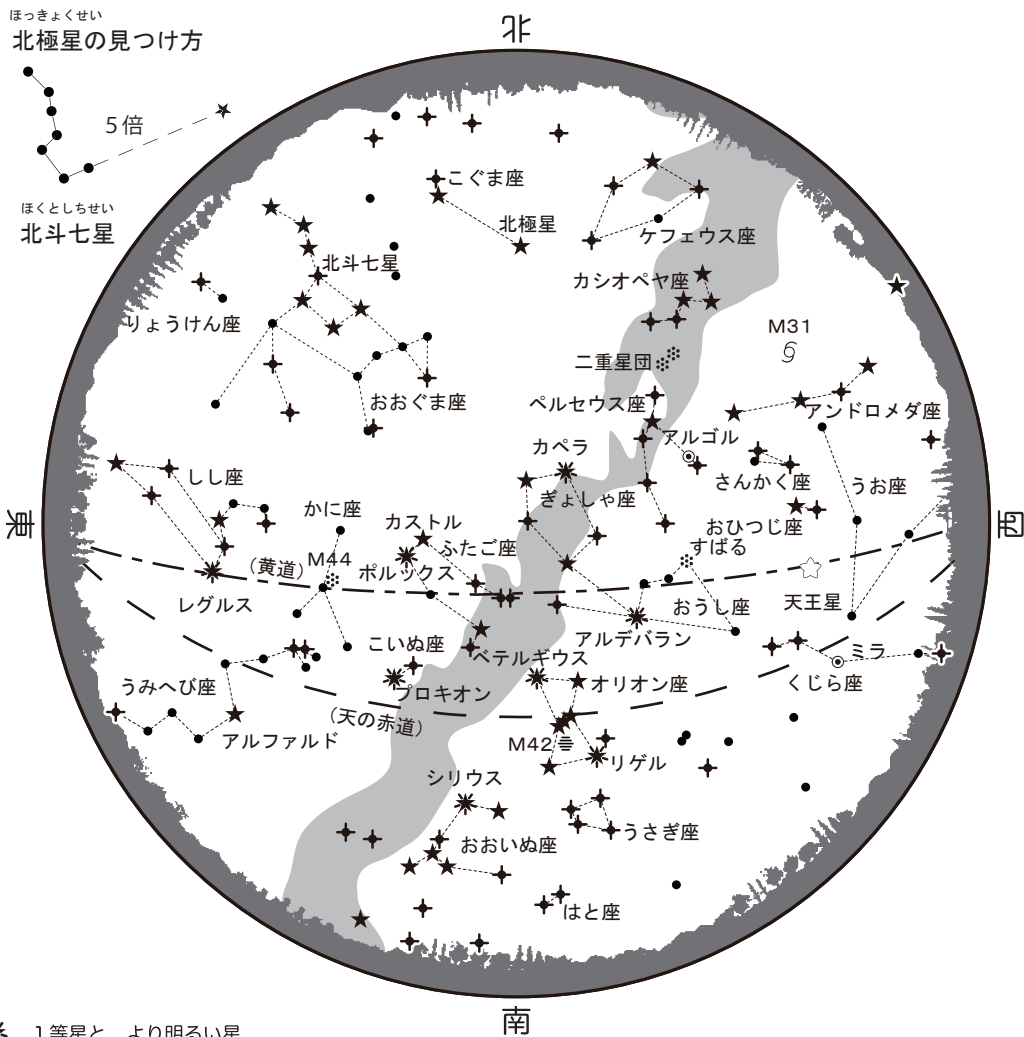


富山でみえる 2020年2月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ★ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☄ 星雲
- ♁ 銀河

この星空が見えるのは

- 2月 5日 午後9時ころ
- 2月 20日 午後8時ころ
- 3月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

- 2月 2日 上弦 ☾
- 2月 9日 満月 ○
- 2月 16日 下弦 ☽
- 2月 24日 新月 ●



オリオン座

砂時計のような形をした星の並びがオリオン座です。上側の赤くて明るい星はベテルギウス、下側のやや青みがかった明るい星はリゲルで、ともに1等星よりも明るい星です。またこの星座には、オリオン大星雲（M42）と呼ばれる明るい星雲があります。



ふたご座

オリオン座の北東でなかよく並んだ2つの明るい星がふたご座の目印です。やや黄色っぽい色の1等星が弟の星ポルックス、白い色の2等星が兄の星カストルで、色の違いがきれいです。カストルは望遠鏡を使うと2つの白い星が並んで見える2重星です。



ぎょしゃ座

ぎょしゃとは馬車の運転手のことです。黄色の0等星カペラが目印で、このカペラをふくむ、少しつぶれた五角形の形に星をつなぎます。カペラには「小さなメス山羊」という意味があり、星座絵でも山羊をかかえた男の人が描かれています。



おおいぬ座

ひときわ明るく、きらきらと輝いている青白い星シリウスが目印です。シリウスは地球との距離が8.6光年と、とても近くにある恒星です。また明るさはおよそマイナス1.5等と、太陽以外の恒星の中で最も明るく見える星です。

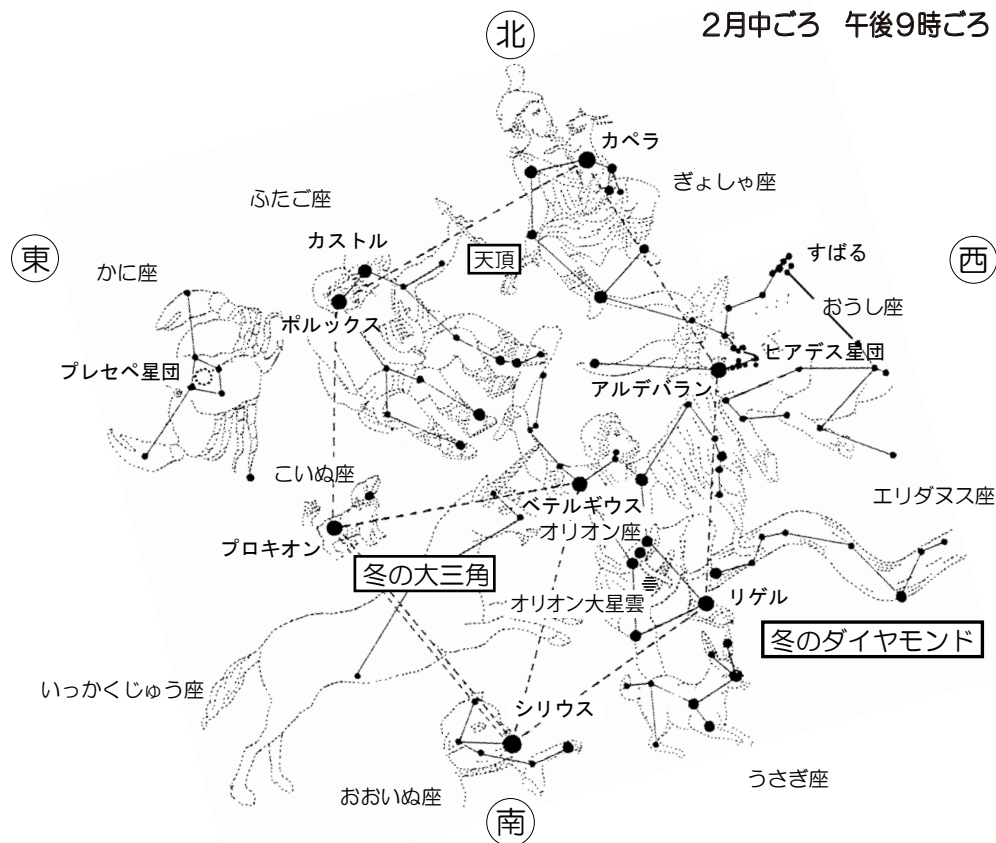


こいぬ座

冬の大きな角を作る明るい星の一つ、プロキオンが目印です。プロキオンには「犬の前」という意味があり、東の空でシリウスの少し前に昇ってくることからつけられた名前です。このこいぬ座とおおいぬ座は、ともにオリオンの猟犬とも言われています。

せいざ 冬の星座の見つけかた

2月中ごろ 午後9時ごろ



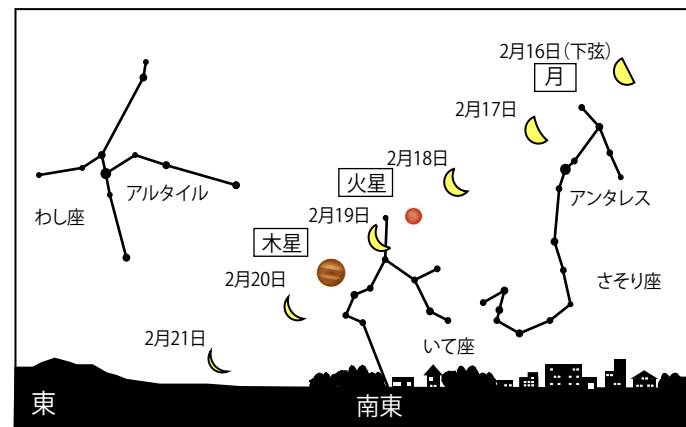
- 1 南の空に、リボンの形をしたオリオン座を見つめます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（三つ星）を右上にのばして、おうし座のアルデバランを見つめます。
- 3 アルデバランの北に、カペラをふくみ五角形をしたぎょしゃ座を見つめます。
- 4 オリオン座の三つ星を左下にのばして、冬の星座で一番明るくかがやくシリウスを見つめます。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大きな三角」を見つめます。
- 5 ぎょしゃ座の東に、明るい星が2つ並んだふたご座を見つめます。
- 6 1等星以上の明るさのシリウス、プロキオン、ポルククス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が、「冬のダイヤモンド」です。

げんしやう 2020年2月の主な天文現象

○夜明け前、東の空がにぎやかです

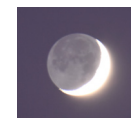
夜明け前の東の空に、火星と木星を楽しむことができます。

さらに2月20日ごろには地球照ちきゆうしやう*の見える細い月が接近して並び、肉眼でも双眼鏡でも望遠鏡でも楽しむことができます。ちょっと早起きして楽しんでみてはいかがでしょうか。



2月中ごろ午前5時30分ごろの空

*地球照…太陽の光を地球が反射し、月の暗い部分が照らされてうっすらと見える現象。新月の前後数日間が見やすいです。



○オリオン座で星の一生をたどってみよう

夜空の星は永遠に輝き続けるのではなく、私たちと同じように寿命があります。オリオン座には様々な段階の星や天体があり、星の一生をたどることができます。

①オリオン大星雲とトラペジウム

星はガスから生まれます。オリオン大星雲には星の材料となるガスが多く、肉眼でも見えます。望遠鏡を使うと、赤ちゃん星の「トラペジウム」が見えます。



トラペジウム

②リゲル

生まれてからしばらくたった星です。高温で青白く明るく輝いています。

③ベテルギウス

一生の最後を迎えつつあり、大きく膨らんでいます。まもなく超新星爆発を起すと言われていて、爆発後はガスとなり、再び星の材料になります。

